



日本共産党
市議会議員団
週刊議会報告
【発行】
岡野長寿
(0845-22-2596)
三浦とおる
(0848-48-5044)

「統合ありき」でなく、児童の願いに応える打開策を！ - 3小学校（土堂・長江・久保）問題を考える -

「市教委が3小学校廃止を決定」との報道が先走る中、1月15日（金）午後7時から深夜まで開かれた土堂小学校の保護者説明会に岡野長寿市議員が参加しました。市教委は「子どもたちの安心安全のために苦渋の決断をした」と説明するものの、2度の転校を余儀なくされることに批判が集中、耐震補強は可能といった判断しながら、単独校での存続の可能性をシャットアウトした今回の決定に不信感をもつ質問・意見が殺到しました。ついでこの前まで検討されていた長江小の長江中への移転案も棚にあげたままの、方針変更がどこで決まったのか、謎は深まるばかりです。

土砂災害特別警戒区域はどういう意味か？

市教委の3小統合案の最大の理由とされたのが、土堂小・長江小に土砂災害特別警戒区域があることです。しかし、この区域指定は台風・大雨の時に土砂災害が起きる可能性が高いので、その際にはいち早く避難が必要であることを示すもので、そこに一切の公共的建物を立ててはいけないということではありません。また、土砂災害は地震と違って、ある程度予測可能で、災害が予想される時には休校の措置を執るなどで危険を回避することが可能です。だから現小学校敷地あるいは校舎の一部がこれにかかると言って、廃校やむなしとの結論を導くのは大変乱暴な議論となり、保護者の納得を得られるものではありません。

耐震工事は今すぐでも行うべき！

ただ地震はいつ起きるか分かりません。3小は耐震工事が未完了でこれについては今すぐ

児童・保護者の願いは土堂小学校の存続

いったんは耐震工事可能との判断を下しながら、なぜこれで、工事を行わなかったのか。児童・保護者の願いが単独での存続にあることを認識して、真摯な検討を行ってこなかったとの非りを免れません。

向島で市政報告会 岡野長寿市議「格差社会是正、貧困対策が必要」

11月17日（日曜日）岡野長寿市議は向島で市政報告会を行い、高すぎる国保料の軽減や後期高齢者医療保険料の問題点を中心に報告し、格差が広がる社会是正のため尾道市が自治体の責務を果たすべきと訴えました。

「桜を見る会」事件 閣僚辞任のドミノ倒しが本丸に迫る！

岡野市議は消費税増税や社会保障改悪で庶民の暮らしが逼迫した原因は「高齢化社会」のせいではなく、「成長できない国」にしてしまった自公政権の間違った経済政策にあることを、資料やグラフを使って暴露し、証券優遇税制や研究開発費の税額控除など大企業や大富豪など、お友達に甘い、歪んだ政治、「政治の私物化」にあると話を展開しました。

また、子ども的人数によって加算される国保料の問題で、それを改善している自治体が多く出てきたことも紹介、年金月額1万5千円しかない後期高齢者から

も容赦なく差し押さえなどによって保険料を徴収する実態も報告。

決算議会代表監査委員が「格差・貧困対策を尾道市が研究すべき」と答弁したことを紹介し、執行部にまじめにその対策を研究するよう求めたいと報告しました。

みうら君の生活一口メモ 年金がいくらもらえるのか不安です

皆さんお元気ですか 寒かったり、暖かかったり、体調の管理が難しい季節ですね。冬がそこまでやってきているのでしよう。先週のお題は「年金がいつから、いくらもらえるの知りたい。本来は年金定期便が届くはずなのですが、私には届いていません。私のように転職や転居を繰り返した人の場合届かないことも多くあるのですか。どうすればよいのでしょうか」とても心配な話ですね。どうすればよいのでしょうか

まず、年金手帳をお持ちの場合は、最寄りの年金事務所に電話をかけて、基礎年金番号と住所を伝えて年金定期便を届けてもらいましょ。年金手帳を紛失した場合でも、運転免許証等の身分証明書を年金事務所に持っていけば、すぐに再発行してもらえます。年金定期便には、年金のもらえる年齢や今までの年金の加入歴が記載されています。もらえる年金のおよその金額も試算されています。

老後の生活設計のために自分の年金額をきちんと把握して生活設計を立てることとは大切なことです。尾道市でも毎週火・木曜日に年金相談会が市民会館で行われています。

予約を取って相談に行かれるのも良いと思います。そして何よりも大切なのは、このようになさんな年金制度を直ちに改めていくことが重要です。次の衆議院選挙で共産党に投票していただき、野党連合政権で政治の在り方を大きく変えていくことが、現在の年金制度の変革のために必要となると確信しています。